



永平寺町

議会だより

第46号

平成29年4月21日発行

議会と語ろう会 テーマ

少子高齢化と人口減少問題

そこが聞きたい! 議員16人が一般質問

がんばる団体

松岡ミニバスケットボール
スポーツ少年団
(※ 最終ページに紹介記事)



自由なご意見、お聞かせください

議会と語ろう会

4月 26^(水)日 27^(木)日 28^(金)日

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

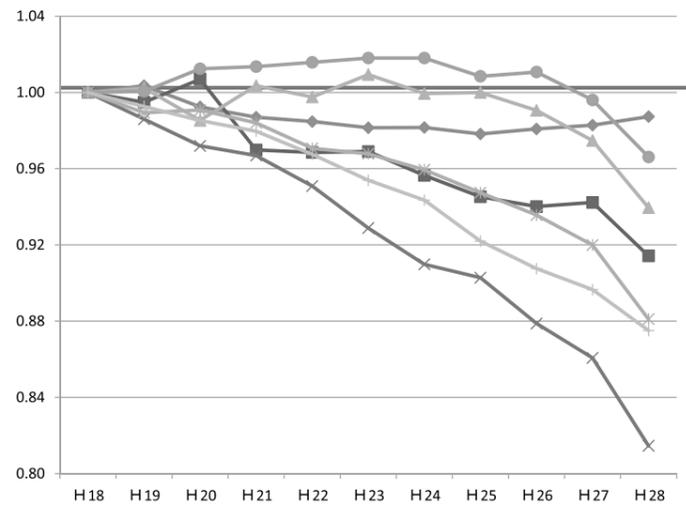
検索

あなたの集落到どの様な変化をもたらすか？

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、我が国の人口は平成20年（2008年）の1億2,808万人をピークに、その後は減少の一途をたどり、平成62年（2050年）には1億人を割り込むと推計されます。また平成72年（2060年）には、1年間に生まれる子どもの数が現在の半分以下の50万人を割り、高齢化率は約40%に達するという厳しい見通しが示されています。

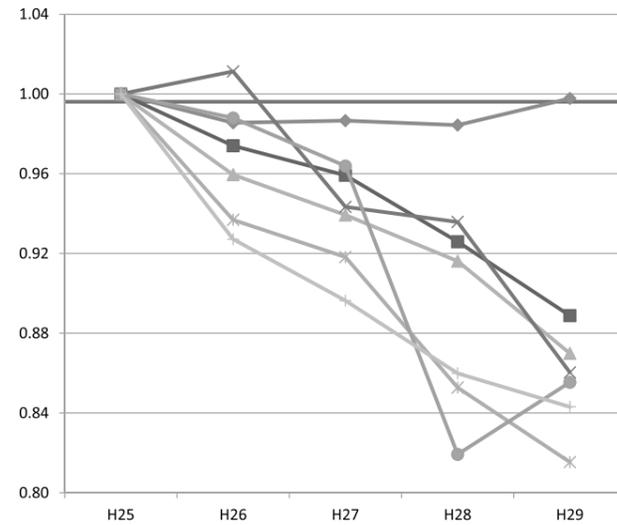
永平寺町小学校区別の人口動向指数

(合併時平成18年を1としての動き)



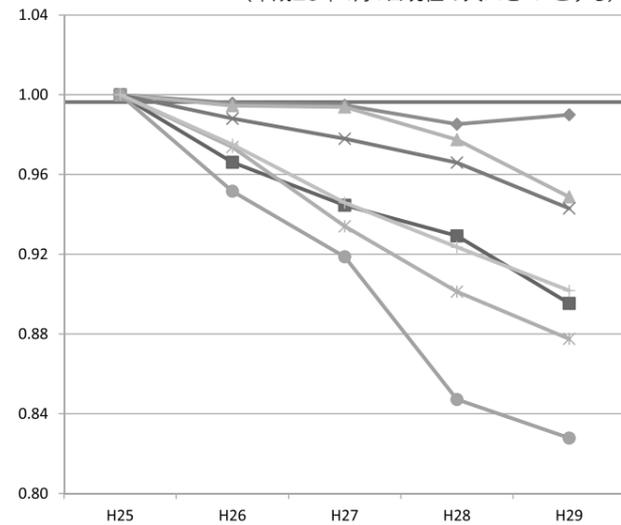
年少人口指数の推移

(平成25年4月1日現在の人口を"1"とする)



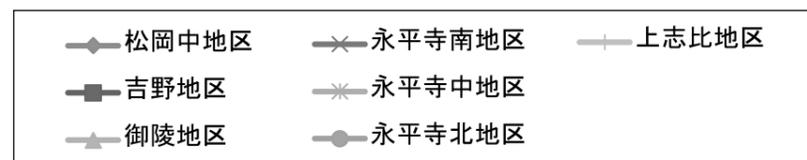
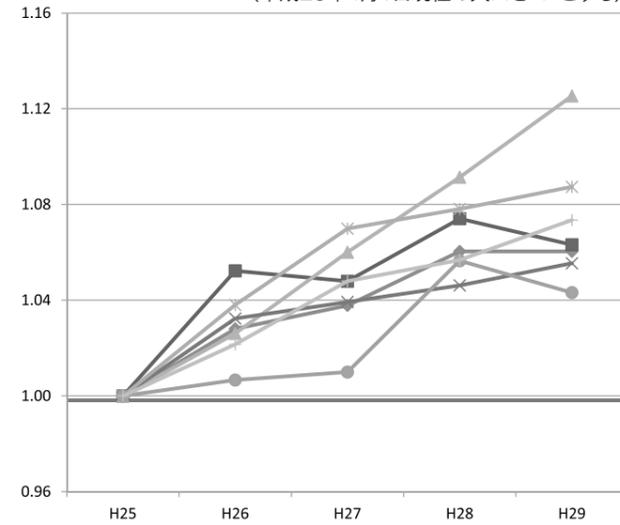
生産年齢人口指数の推移

(平成25年4月1日現在の人口を"1"とする)



老年人口指数の推移

(平成25年4月1日現在の人口を"1"とする)



(住民基本台帳人口)

(国勢調査人口)

【表-1】

永平寺町人口	A 平成22年 (2010年)	構成比	B 平成27年 (2015年)	構成比	B-A	増減率
総人口	20,650人	100.0	19,291人	100.0	-1,359人	↓6.6%減
年少人口(15歳未満)	2,733人	13.2	2,514人	13.0	-291人	↓8.0%減
生産年齢人口	12,840人	62.2	11,324人	58.7	-1,516人	↓11.8%減
老年人口(65歳以上)	5,077人	24.6	5,453人	28.3	+376人	↑7.4%増

【表-1】は平成27年(2015年)と平成22年(2010年)の比較表で、この5年間で1,359人減少(比率で6.6%の減少)しています。

少子高齢化への施策

第二次永平寺町総合振興計画より

子育て支援の充実

1. 子育て支援の拡充

- 子育て支援センターのサービス拡充
- 幼児園・幼稚園と様々な地域住民や団体などとの交流

2. 出会い、結婚、出産への支援

- 結婚、出産、子育て情報ネットワークの強化
- 若者の出会いの機会創出事業への支援整備

3. 助成制度の充実

- 乳幼児医療費、妊婦健診の助成などの充実
- 助成制度の充実による子育て環境の整備

4. 保育サービスの充実

- 快適性や安全性に配慮した施設の整備
- 子育て世代への経済的支援や生活援助と保育サービスの拡充
- 特色ある保育の取組みの推進

5. 学童保育の充実

- 全指導員の資格取得支援

6. ひとり親家庭の支援

- ひとり親家庭の経済的自立の支援



高齢者福祉の充実

1. 高齢者の社会参加の促進

- 高齢者の生きがいと健康づくりの推進
- 健康長寿クラブ(老人クラブ)活動支援
- 福祉ボランティアの育成、確保

2. 地域包括ケアシステムの推進

- 地域包括支援センターの充実
- 生活支援体制整備事業の充実
- 在宅医療・介護連携の推進

3. 介護予防事業の充実

- 介護予防の充実
- 介護予防・日常生活支援総合事業の基盤整備
- 地域支援事業の充実、強化

少子高齢化と人口減少問題

平成29年度一般会計当初予算報告

平成29年度
一般会計当初予算

92億4,983万円

特別会計
企業会計当初予算

55億2,659万円

平成29年度第1回永平寺町議会定例会議案第7号「平成29年度一般会計当初予算」および議案第8号から議案第13号「特別会計他、当初予算」の計7件が付託され、慎重に審査し採決の結果、賛成多数により可決した。

【主な項目】

門前まちなみ整備事業

3億5,145万円

永平寺門前のまち歩きを楽しめる散策環境を整えるもので参道の整備に加え、(国庫 県支出 地債 一般財源) 観光案内所の整備も行います

松岡公民館耐震補強改修工事

1億2,372万円

耐震補強計画、補強工事を実施し、経年劣化による不良箇所や建築基準法および(国庫 町債 一般財源) 消防法に基づく指摘箇所の改修工事を実施する

地域情報通信基盤整備事業

1億8,500万円

県内各市町で既にNTTフレッツ光誘致し全地域を対象に超高速ブロードネットワークを構築することで住民や企業、大学等に超高速光インターネットの提供を図る(地方債 一般財源)

介護予防・生活支援サービス事業

3,140万円

全国一律の基準で実施されていた要支援1~2の人を対象とした介護予防訪問介護と介護予防通所介護を総合事業で実施する(国庫 県支出)

旧上志比小学校体育館耐震補強改修工事

1億1,527万円

年間を通じて健康増進や体力向上を目的に利用できる、体育館にするための耐震補強改修工事および外構工事を実施する(国庫 県支出 地債 一般財源)

主な質疑応答 一般会計補正予算

◆総務課

問 京福バス平均輸送量に
対して支出をしているが
平均輸送量とは段階補助
なのか。

答 路線バスの利用の平均
値を3段階として赤字路
線として5人未満(市・
町補助) 5~15人(県・
市・町) 15人以上(国・
県・市・町案分)

◆福祉保健課

問 介護ロボットを送り
入る必要があると考
え購入を見送った理由
は。

答 国の補助金があつても
200万円と高価であつ
たため見送る。

◆農林課

問 鳥獣害対策でネット柵
申請書の取り下げ理由
は。

答 区は金網柵を要望した
が高価なこと、補助対
象であるネット柵の方
を勧めるには区の総会
での了承が必要となる
ため取り下げとなつた。

◆建設課

問 参入点改修の測量設
計で交差点や狭いところ
があるという形になる
のか。

答 狭いところは旧駅舎跡
地をすれ違いポイントと
して整備し、交差点につ
いては今後協議していく。
問 参入点は門前まで整
備するのか。
答 門前手前のバス停まで。

◆生涯学習課

問 非常勤調理人が退職し
て21名で大丈夫か。
答 適正は23名ですが、1
名補充しており現在1名
は募集中。

特別会計

◆介護保険特別会計

問 介護保険の第三者行為
とは。
答 交通事故による要介護
者のこと。



参入点

平成29年 第1回定例会報告

議長 齋藤 則男

平成29年第1回永平寺町議会定例会は、2月27日(月)から3月21日(火)まで23日間開催されました。審議され可決された内容は、次のとおりです。
なお、永平寺町教育委員会委員には、永平寺町松岡吉野 室 秀典氏を任命同意しました。

第1回定例会議案

議案番号	議案内容	議決
承認第1号	平成28年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認
議案第1号	平成28年度一般会計補正予算	可決
議案第2号	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決
議案第3号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算	可決
議案第4号	平成28年度介護保険特別会計補正予算	可決
議案第5号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算	可決
議案第6号	平成28年度上水道事業会計補正予算	可決
議案第7号	平成29年度一般会計予算	可決
議案第8号	平成29年度国民健康保険事業特別会計予算	可決
議案第9号	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第10号	平成29年度介護保険特別会計予算	可決
議案第11号	平成29年度下水道事業特別会計予算	可決
議案第12号	平成29年度農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第13号	平成29年度上水道事業会計予算	可決
議案第14号	行政組織条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第15号	個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第16号	町税条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第17号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第18号	ふるさと創生基金条例等を廃止する条例の制定	可決
議案第19号	永平寺緑の村運動広場条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第20号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第21号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第22号	禅の里笑来を設置及び管理に関する条例の制定	可決
議案第23号	第二次総合振興計画の策定	可決
議案第24号	教育委員会委員の任命同意	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	適任
発議第1号	参議院選挙における合区の解消に関する意見書の提出	可決

議案への賛否一覧

議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(齋藤則男)は採決に加わりません

議案番号	上坂	滝波	長谷川	朝井	酒井	江守	小畑	上田	金元	楽間	川崎	伊藤	奥野	中村	川治	長岡	多田
議案第7号	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※反対または退席があつた議案だけ載せています。したがって、その他議案等21件については全員賛成です。

予算決算常任委員会審査報告

委員長 伊藤 博夫

平成28年度一般会計3月補正予算

1億4,586万円

議案第1号「平成28年度一般会計補正予算」および議案第2号から議案第6号「特別会計他補正予算」までの計6件を当委員会に附託され質疑応答後、慎重に審査し採決の結果、全議員賛成により可決した。主な内容は次の通りです。

【主な項目】

自動走行実証実験基盤整備工事

1億円

永平寺口駅から永平寺門前まで約6kmの遊歩道を自動走行するため実証実験に必要な工事請負費(国庫・県支出金)

松岡小学校校舎等改修工事

1億8,700万円

松岡小学校南校舎棟の大規模改修工事および工事管理業務に係る費用(国庫支出金)

主な質疑応答

◆総括

問 敬老会は今まで通り各地域で開催を。

答 一か所の開催会場で喜んでいる方もおり、同時開催会場がなく現状では出来ないのが状態である。

問 職員採用で議員や役場職員での身内等、世襲での職員採用は問題がある。

答 受付での拒否はできない、個人の問題として判断してほしい。また議会としても十分に協議していただきたい。

◆総務課
問 非常勤職員の賃金の改善内容は。

答 1年目は1日825円、2年目は890円で専門職は別途対応。

問 適正なふるさと納税とは何なのか検討すべき。

答 ふるさと納税は地域の活性化が重要であり、ジレンマがあるが対応して行く。

問 えちぜん鉄道通学定期補助金6048千円の仕組みについて。

答 以前から継続事業として通学定期(3ヶ月)の1割を補助している。

問 町有財産の売却についての見直しが必要と思うが。

答 けやき台のEハウスの土地処分については平成23年に全員協議会で説明し貸付契約をし、売買についても協議済みで29年に売却するとしている。

問 空き家現地調査の内容と現状について。

答 現地調査は各地区の区長が調査し建築士が確認して報告書を作成している。

問 バス運行の外部委託の内容は。

答 運行日誌(マイクロスコー)の回数と時間で予算を立てている。

問 個人情報の委託内容を問う。

答 個人情報、番号法の改正に条例の洗い出しを行い条例改正の手続き等を協議する。

問 職員残業で午後8時以降はパソコン電源をオフしているがどの程度か。

答 午後8時以後は電源をオフにしているが業務や事務内容に応じて課長が許可し再起動をしている。

問 専門職の採用結果と処遇について。

答 公会計事務1名・建築士1名・広報デザイン1名・スポーツ振興1名の計4名を採用しております。

問 中国の張家港市との20周年の友好関係の進め方を考えてはどうか。

答 節目の時であり今後も含めて方向性を見極めたい。

問 町が定める障害者支援の実行施策は何処で決めているのか、またバリアフリーは何処で決定しているのか。

答 障害者の計画は福祉保健課では45ヶ所の内11ヶ所が未整備で6ヶ所は計画中です。

◆財政課
問 基金取り崩し1億5千万、起債10億円の主な理由は。

答 昨年より減少している起債を利用する事業が拡大している。臨時対策債は借りなくても交付税に加算される。交付税は面積、人口は上乗せ減が少なく、事務効率化等、基準があり努力した分の付加がある。

問 ゲストハウスの町づくり会社やえい坊館等、オールセルフで金額も高い。合宿では使用しにくいことから黒字になることは不安であり同時にまちづくり会社も不安である。指定管理だけでは無理があり赤字も累積することから見切り点も考えるべきである。

答 料金は全国的な施設を参考に条例で設定した。高くすれば他地区に逃げられる。割引についてはまちづくり会社で検討する。まちづくり会社は「笑来」だけでなく指定管理も含め自動走行も考える。設立準備会で事業展開を検討する。今後4年を目途に黒字への転換を図る。

問 こしの国の説明がない。町民には繰り返し説明することが必要である。CATVの導入時に戻って説明すべきである。

答 整備したのは10年前で更新時期に来ている。更新費用が高いため無償委譲する。

問 イントラネットをケーブルに乗せると保守が軽減できるのではないか。

答 N T T フレッツ光で費用も発生しないイントラネットとなり1億円軽減できる。

問 デジタル指令の機能で独居老人の表示はするのか。

答 地図上では表示しないが入電時にボタンを押せば表示する。

◆福祉保健課
問 障害者自立支援は全体的に増加している。防犯施設は一施設か。

答 各施設に通知した結果申し込みは一施設でした。

◆学校教育課
問 海外派遣を学校教育で実施する時の選考方法について。

答 面接と英語の学力、リイダー性等で15名を選考した。英語に特化した仕事に就ける土台づくりとしており5回の研修と実践練習を行った。

◆生涯学習課
問 上志比支所の内容でサンホール、図書館を支所に移設できないか。諮問委員会の意見がある。

答 公民館活動する者や、住民に意見を聞いており、支所の活用については検討する。



平成29年度耐震改修される松岡公民館

議案への賛否討論

議案第7号

平成29年度 一般会計予算

反対討論 金元 直栄

健康長寿室の設置など、町民に必要な予算があるのは認めるが、上志比小体育館がありながら、旧上志比小体育館の改修など、合併後、公共施設の見直しどころか、施設の数は増えている。類似施設も新たに作っているのは問題だ。個々の施設についても疑問は多い。まちづくり会社の設立目的も疑問だ。

町有地の安値売却も認められない。福祉では敬老会の一か所開催や肺炎球菌接種の町事業の取りやめなど、現定住者への施策が見えないどころか後退している。

町内の土地利用や小学校校区単位での自治組織づくり等も先が見えない。

合併10年の曲目に、合併そのものの評価をきちんと行うべきだがそれも見られない。よって新年度予算案には反対する。

賛成討論 江守 勲

平成29年度一般会計予算案は、議員全員による予算決算常任委員会において慎重に審議し、疑問点などについては、理事者の説明で

議案第8号

平成29年度 国民健康保険事業 特別会計予算

反対討論 金元 直栄

町が集団健診や、ドックへの支援を行っていること。法定外の支援をしていることは評価するが、県一本化の前、県が保険税の基準を示す前であること。また、加入者の所得の伸びもない時期に保険税の引き上げを含む予算案には賛成できない。

被保険者は減少しているが、医療費の伸びは続いている。2年続けて一般会計から赤字補てんしている状況なので、保険税を上げざるを得ない。健診や健康増進の取り組みを強化し、医療費抑制を要望し、賛成とする。

平成29年度 介護保険特別会計予算

賛成討論 金元 直栄

今予算案は、介護保険内にある要支援1・2を町が行う総合事業で行うことになっている。

要支援1・2の介護保険外しは、介護サービスの抑制が狙いで

議案第10号

平成29年度 介護保険特別会計予算

賛成討論 金元 直栄

町が集団健診や、ドックへの支援を行っていること。法定外の支援をしていることは評価するが、県一本化の前、県が保険税の基準を示す前であること。また、加入者の所得の伸びもない時期に保険税の引き上げを含む予算案には賛成できない。

被保険者は減少しているが、医療費の伸びは続いている。2年続けて一般会計から赤字補てんしている状況なので、保険税を上げざるを得ない。健診や健康増進の取り組みを強化し、医療費抑制を要望し、賛成とする。

平成29年度 介護保険特別会計予算

賛成討論 中村勘太郎

この予算案は、従来、車社会において広域的な公的機関の在り方が求められた経緯があった。

しかし、高齢化社会環境等を踏まえ、旧上志比小学校体育館をスポーツ等憩いの場施設に改修し、周辺施設の禅の温泉・道の駅等をより有意義に地域の方々が利用できる、直接住民生活に沿って活かされた予算である。よって、この予算案に対し賛成する。

議案への賛否討論

あり、自治体や住民への押しつけだ。介護保険導入時の主旨から大きく外れることから認められない。

賛成討論 滝波登喜男

介護保険会計は、国の制度に基づいて予算化している。国の制度改正はよいとは思わないが、介護を必要としている方にとって妥当な予算であるので、賛成します。

反対討論 上田 誠

高齢者が増える現状で介護保険の重要度が増大する現状で、介護支援1・2が総合事業（国の方針）に変わる。今後の医療・介護・予防・生活支援が確保される地域包括ケアシステムの構築が重要である中、今後の事業展開や施策（構築に向けた地域体制や支援のあり方）の動向の注視が必要と考えるゆえ、要支援1・2の移行した予算に対して保留の立場を示す。

議案第16号

町税条例の一部を改正する条例

反対討論 金元 直栄

消費税10%が先延ばしされたことによる変更だというが、消費税が8%と引き上げられ、さらに元

の重量税も取られるというのは、二重に重い負担になる。廃止すべきだ。

賛成討論 江守 勲

法改正による軽自動車取得税が廃止され、環境性能割が導入される事により、環境影響への負荷の軽減に努めなければならぬことを鑑み、これに賛成する。

議案第17号

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対討論 金元 直栄

今回の国保税の改定は、一人当たり年50000円の引き上げとなる。働く人々の収入が伸びていないこの厳しい時期の値上げであり、また、県一本化後の国保税の基準が、近々県から示される前の値上げには反対だ。

賛成討論 上田 誠

今回の保険税改定には予算でも示されたように法定外繰入れ金（4300万円）基金、繰越金（5800万円）を投入しても財政安定のためには改定が必要な点。今後県一本化の予定での財政安定面、資産割の軽減や低所得者への軽減（もっと進めるべきと思

うが）処置を鑑みればやむを得ない改定であると考え賛成の立場を示す。

議案第22号 禅の里笑来の設置及び管理に関する条例

反対討論 上田 誠

この新しい公共施設（禅の里笑来）は、まちづくり会社（民間資本+町出資350万円）の指定管理の簡易宿泊所であり、民営を基本とする体制での施設である。（本来なら施設の使用料を受けるべく）施設指定管理費のみならず当初3年間の赤字も補償する状況である。（利用料金体系も管理者が決める）経営面や今後の負担を考慮すると反対の立場を示さざるを得ない。

賛成討論 江守 勲

施設の利用料金設定については、近隣県、近隣市町の実例等を調査研究した上で設定されている。また、指定管理についても全員協議会に今後のタイムスケジュールや収支想定が資料として示されており、これに賛成する。

禅の里笑来の設置及び管理に関する条例の制定など、5議案成る

総務常任委員会 委員長 中村勸太郎

例の制定について

①町ふるさと創生基金②町ふるさと水と土保全基金③町福祉基金を廃止し、現状に則した基金に統合し、目的を明確に活かされる基金再編を目的に制定する。

議案第22号

禅の里笑来の設置及び管理に関する条例の制定について

新たに開設する施設の設置及び管理に関する条例の制定で、利用の仕組み・利用料金・指定管理料の捉え方について確認する。

採決の結果、委員会全員賛成により可決意見書

参議院選挙における合区の解消に関する意見書の提出について

参議院の合区は、「地方創生に逆行」「地方の意見を国政に反映する仕組みとするべき」と、県も解消を提言。これらことから政治のしつかりした方針を出すことが大事。

採決の結果、委員会全員賛成により採決で可決

本委員会は3月15日に全委員出席のもと開催し、総務関係の今議会に付託された5議案、意見書1の案件について慎重に審議した。

議案第14号

行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

住民に対する行政窓口をより明確にすることが求められていることから、課同士との連携を強化し、より効果的に運営することを目的とするための改正。

議案第15号

個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

番号法の改正により、情報提供ネットワークシステムを利用した情報連携が可能となる規定が追加されたことにより、町の規定を整備する。

議案第16号

町税条例の一部を改正する条例の制定について

特定非営利活動促進法の改正により、車体課税の見直し・地方法人課税の偏在是正・住宅ローン減税の延長等の国の改正により改正するもの。

議案第18号

ふるさと創生基金条例等を廃止する条

中山間総合整備事業の現況・松岡公園の進捗状況を協議・越前加賀インバウンド推進事業

産業建設常任委員会 委員長 朝井征一郎

本委員会は3月15日に全委員出席のもと開催し、委員会の案件について協議した。

中山間総合整備事業の現況について（農業用排水施設事業）

農林課 2月13日に住民意見の概要、住民意見を検討した内容を明記し申請。2月24日に適正決定を受け3月2日に事業計画書及び住民意見の対応方針を決定。3月14日に福井県報により告示され、4月28日に計画確定の予定。30年度に工事を着手し、33年度に事業完了予定。

松岡公園の進捗状況について

建設課 28年度整備事業として、芝生広場、エントランス広場、眺望園地北側法面、南駐車場（植栽、芝張、照明用電気工、ベンチ設置工、車止め設置工、碎石舗装工）整備を行っている。29年度に、山頂駐車場、南駐車場、眺望園

地（植栽、芝張、東屋設置工、休憩舎設置工）の整備を、30年度に、眺望園地、南北アプローチ道路山頂駐車場（園路舗装、車止め設置工、舗装工、区画線工）の整備を計画している。

越前加賀インバウンド推進について

商工観光課 2月14日～17日に香港で実施されたトップセールスの報告の中で、香港では9割が個人旅行で4泊5日の家族旅行向けの商品がよく売れている。旅行先として日本に興味があり、特に食文化に興味がある。ラーメンは好きだが、そばは苦手らしい。また雑誌の文化があり、永平寺をアピールして観光客を呼び込む。

議会行財政改革特別委員会報告

委員長 滝波登喜男

方向性定まる

当会は、1月19日・31日・2月17日開催し、14名の議会の組織と運営について協議した。協議内容は①本会議中心主義・委員会中心主義の方向性②通年会期制の導入③今後の日程について。①予算決算審議について、全議員で構成する予算決算常任委員会において審査し、本会議において委員会の審査結果を承認している。しかし、これでは委員会の審査結果を本会議で否決する可能性があり、同じ議員で審査しているにもかかわらず、違う結果が出るようになってしまう。こ

のことを改善するため、本会議中心主義の議会運営を目指すこととなった。また、少人数で専門的に調査研究していくことも必要であるため委員会を残すこととなった。②昨年4回の定例会と4回の臨時会の合計8回議会を開いている。それだけスピード感が求められているため、通年会期制を導入する方向で進めることとなった。③当初3月に結論を出すこととしていたが、抜本的な改革のため、十分な審議時間を確保し8月から実施することとした。

3月定例会 一般質問 **そこが聞きたい!** 問&答

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

- 長岡千恵子 … ⑪ 樂間 薫 … ⑯
- 長谷川治人 … ⑫ 金元 直栄 … ⑰
- 小畑 博 … ⑫ 江守 勲 … ⑱
- 上坂 久則 … ⑬ 上田 誠 … ⑲
- 川治 孝行 … ⑭ 多田 憲治 … ⑲
- 朝井征一郎 … ⑭ 酒井 要 … ⑳
- 中村勘太郎 … ⑮ 滝波登喜男 … ㉑
- 川崎 直文 … ⑯ 奥野 正司 … ㉑

問 まちづくり会社の事業内容は



長岡千恵子議員

答 笑来や自動走行の実用化も視野に

問 まちづくり会社の設立で、資本金と町の出資金額は、

答 総合政策課長 資本金は500万円、町の出資額は350万円。

問 事業内容として、

答 ①諸団体との協議、連携による町の活性化。②笑来の運営と商品開発。③体育施設の維持管理。④からどうやって利益を確保するのか。⑤はやり方次第で利益は確保できる。⑥は町からの委託料が収入となる。まちづくり会社のドル箱は何か。

総合政策課長 ①単体でできない事業を連携、協力することにより事業化を図り、まちづくり会社が事業展開

して利益を確保する。ドル箱となる事業は、国の最先端事業である自動走行の実証実験を参る10で行う。実験終了後の実用化を模索中。

町長 民間の資金を活用したクラウドファンディング、PPP、PFIの資金を使って財政面や維持管理を行う。PPPやPFIなど民間の資金を使って3億円程度の事業も効率よく運営しているという成功例もある。町の下請けではなく収益を上げて儲けてもらいたい。

問 見る、食べる、遊ぶの連携構築と商品開発には、専門知識が必要。どう対応するのか。

総合政策課長 非常勤職員が団体や事業所との連携依頼、調査、研究、アドバイスも受けノウハウを習得中。



禪の里 笑来

(注) PPPとは公民が連携して公共サービスの提供を行うこと。PFIとは公共施設の建設や維持管理、運営に民間の資金とノウハウを活用し公共サービスを民間主導で行う。

【その他の質問】「各種団体の事務局は団体主導に」

常任委員会報告

高齢者福祉向上などに 向けて協議

教育民生常任委員会 委員長 滝波登喜男

当委員会は、3月16日、委員5名出席のもと開催し、付託案件4件を審議した。

付託議案

議案第17号 国民健康保険条例の一部改正(主な意見) 被保険者への応分の負担は仕方ないが、医療費抑制のための更なる努力を。賛成多数で可決

議案第19号 緑の村運動広場条例の一部改正 賛成全員で可決

議案第20号 指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準などを定める条例の一部改正

議案第21号 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準などを定める条例の一部改正

(主な意見) 登録定員を広げて収益性向上を目指すことは理解できるが、実態は人員確保に大変苦労している。

両議案とも賛成全員で可決

その他の協議

(1)旧上志比体育館の活用計画について (2)御陵児童クラブ移転改築と今後の空き教室活用について など、協議した。

議会・各委員会の議員出欠状況

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退
—…員外 傍…傍聴 吊…吊事 研…研修

日付	開催委員会等	上坂久則	滝波登喜男	長谷川治人	朝井征一郎	酒井要	江守勲	小畑博	上田誠	金元直栄	樂間薫	川崎直文	伊藤博夫	奥野正司	中村勘太郎	川治孝行	長岡千恵子	多田憲治	齋藤則男
	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育民生常任委員会	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会	○	—	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務常任委員会	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会行財政改革特別委員会	—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数																		
	会議回数																		
	出席率																		

生活困窮による中途退学防止や生活難等の対策は

答 援助策の周知を計画



上坂 久則 議員

問 教育環境は万全か。

答 教育長 社会の変化、例えばSNS等、課題は存する。様々な対応策をとる。

問 高校・大学在学中に保護者が病気、事故、災害などのために生活困窮になり、中退などの場面になった時、救済制度は存するか。

答 学校教育課長 緊急

に家庭の経済事情で困窮された方の対策として、県では高等学校進学者に対しての奨学金、在学者に対しての緊急採用の奨学金制度があります。27年度から返済不要の給付型奨学金創設ができた。

問 町の教育資金支援給付金制度は存するか、要件を満たし、指定金融機関から口座開設が認められないと、

問 生活福祉資金活用にも保証人を要し、行政が万全に対応しにくいのは、社協に積金を委託し生活困窮者支援（町には制度なし）を充実すべきだが、福祉保健課長 生活困窮者支援制度はない。今後検討していく。

問 県内において、い

傍聴にお越しください 生中継

6月定例会 (予定)

5月 29日(月) 10時~ [本会議]

6月 5日(月) 6日(火) 7日(水) 10時~ [一般質問]

6月 8日(木) 9時~ [予算決算常任委員会]

6月 14日(水) 10時~ [本会議] [予備日]15日(木)

- 日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。

★エレベーター完備

「緑の村~R364号」復活を

答 緑の村広場を更に活発化のために



長谷川治人 議員

問 緑の村の旧テニス場横から下方へR364号に至る道路を従来の町道として復活してはどうか。

答 緑の広場へのアクセス道路には、過去に四季の森文化館後方からの検討がされたが難題で実現出来なかった。この緑の村広場は、生涯学習の充実や次代を担う青少年の健全育成、町民運動と地域ぐるみ活動の推進を図るうえで、拠点地である。その意味で昨年も町内外から相当多数の利活用があると思うが。

生涯学習課長 平成27年度決算から、ふれあ



旧緑の村テニス場横から下方へ

問 福井国体では、緑の村でバスケットボール成年男子、選手は132名、ハンドボール少年女子、選手が192名が競技。全国障害者スポーツ大会も開催され、選手以外にも多数お見えになる。知名度により国体後も大いに増員が見込まれる。

いセンターと運動広場合計3万4700人、四季の森文化館で約6千人。その他、金子兜太先生石碑を見に来るお客さんが年間を通して相当お見えになる。

問 松岡河川公園のあり方は

答 受益者負担から利用料を徴収



小畑 傅 議員

問 松岡河川公園は冬期間を除き、マレットゴルフ（以下MG）など軽スポーツの会場として、広く町民に親しまれている。

答 この公園の利用目的は、町民が健康で、住みよい町づくりに資すとあり、現在(株)コーワが指定管理者として、施設の維持管理にあたり、収入はMG場使用料などで124万4550円となる。指定



マレットゴルフを楽しむ愛好者

管理料は施設利用収入を差し引いた額で28年度822万円となっている。

問 町内には3か所のMG場があり、その中で松岡MG場だけが有料となっている。同じ指定管理者の中にありながら、町民として不公平感が生じている。MGを楽しむことで、医療費の縮減など多くのプラス面がある。年金生活者から料金は取らなくてもいいのではないか。

建設課長 当初松岡MGクラブで、自主的にコースを整備し無料で使用していた時期がある。

る。

さらに、中部縦貫自動車道開通により、永平寺ICからR364号を通り、緑の村線へ直接乗り入れが可能になれば諏訪問団地との

両通行可能になり、いずれかの災害時には利便な道路ともなる。

また、イベント開催時には通行軽減も図れる。

建設課長 四季の森の

利用率をさらに上げるためには以前からの課題でもあるアクセス道路整備の考えも一つだ。様々な課題があるが、今後十分検討していく。

り、その後ホール拡張の強い要請を受け現在のようになつた。

その時にMG協会と利用者について協議をして受益者負担の観点から利用料を徴収する

ことになった。

町長 不公平の点から松岡でMGする方は、永平寺や上志比へ行つて無料でプレイでき、逆に公平・不公平ではなく選べる環境にあ

ると捉えていただきました。

【その他の質問】
「平成30年以降の米生産の方向は」
「福井市「連携中枢都市圏」構想は」

じめ認知件数が830〜860あるとの新聞報道。保護者によるチェックリストの活用を図ること。

教育長 活用を検討する。

【その他の質問】
「指定管理団体、設置義務団体等の監査や給付金の現況を問う」
「登校拒否の児童数・生徒数の実態、対策とは」
「来年度の予算(事業等)を問う」

問 除雪車運転者の確保について



川治 孝行 議員

答 個人契約も視野に対応

問 降雪による稼働差が激しい担い手確保で待機料の考慮は。

建設課長 待機料は導入していない。現状の体制を継続する。

問 永平寺町内の今冬の除雪機械の購入は。

建設課長 機械購入後10年間、町内除雪を行う条件で300万上限で3分の1補助。平成28年は2台購入。

問 除雪機械の維持管理費（保険、車検代）等に対する今冬の措置対応は。

建設課長 維持管理費として県の公表単価基準で最低保証をしている。

問 除雪契約は随意契約か。



除雪風景

約と一般入札であるが不調があったか否か。

建設課長 委託業者は毎年大きな路線変更はせず随意契約としている。

問 除雪体制の確保から、複数年の契約は。

建設課長 単年契約が妥当とし現状の契約方法で継続したい。

問 公共事業の削減と高齢化で、除雪に支障が出る今後の対応は。

建設課長 業者に限らず大型特殊免許所有者との個人契約も視野に入れ除雪体制を維持したい。

問 熟練運転者の退職に伴う後継者育成は。

建設課長 県が窓口で

問 図書館を上志比支所に移転すべき



朝井 征一郎 議員

答 支所内に図書コーナーを新設

問 地域住民の皆さんから、サンサンホールの図書館は町民の全てが安心、安全に利用される所で、今の図書館の階段では中高年層には無理。

生涯学習課長 子育て支援を着実に進め、町民が喜んでもらえるためにも、図書館を支所に移動して役割を果たすべきではないかと思う。住民に「本」の魅力を伝え、図書館を移転して支所機能を兼務し、活力ある町づくりはどうか。

上志比支所は上志比地区の中心で一等地ですので、ここに公共施設があり、いろんな施設を集めてはどうか。図書館は地域の人が集まる所で、明るいまち、笑顔のあるまち、住みたいまち、若者が集まるまちにして地域が良くなる。地域の住民が図書館を支所に移転することをお願いしておりますので、ご検討を。



役場上志比支所

生涯学習課長 今現在の上志比図書館、サンサンホール周辺、これまでの合併前からの整備も含めて、幼稚園、小学校、中学校、また、やすらぎの郷、今現在、児童館とか児童クラブ、子育てセンター、そういった形で上志比地区の文化教育施設

年2回除雪機械運転者講習会を委託業者に案内し講習を受けている。

問 消火栓の除雪についての除雪基準があるのか。

消防長 消防本部の警防規定の異常気象時の警備体制で定めている。また除雪は人海作戦で行う。

問 公共施設前の駐車場の除雪及び排雪は。

建設課長 道路の除雪を最優先している。公共施設の除雪はその後の対応としている。

【その他の質問】
「道の駅の現状と課題について」



サンサンホールの図書館の階段

設のほとんどがここに集約して、整備されている。また管理運営していく中で、皆さんの、利用率も上がり今現在、機能がなされていると感じている。

上志比公民館の改修計画もあるので誰でも立寄れる図書館または図書コーナーとか、また座って憩える場として対応していきたい。

問 本町の新たな総合振興計画の実行度は

答 行政総力で取り組む



中村 勤太郎 議員

問 人口減をどのように踏まえるか。

総合政策課長 定住する場所には働く場の創出が必要。主な開発場所の規制緩和に向け、提案をして、投資をしつかり行い地方創生を進めたい。

問 子育て支援の充実の現状と課題に向け、子育て支援センターの拡充、保育士の支援、これら指導者の報酬等

の取り組みは。

子育て支援課長 安全で快適な施設改修を行う。新年度の御陵児童クラブの施設移転を計画や医療ケア児保育事業に取り組む。

問 地域文化の振興で、発掘と伝承について、郷土料理のブランド食のレシピを作る考えは。

生涯学習課長 地産地消の材料で調理実習や

調理方法のレシピを作成し、映像化して次世代に継承できるように、教育委員会を始め他課と連携を進める。

問 観光の振興で、門前開発は数百年に一度の歴史的な大事業で、賑わいの期待と抱負は。

町長 観光資源を一つの産業として育て、ブランド価値が生まれ広がる環境に取組み、参入などの自動走行実証実験などを踏まえ定住につながる好循環のまちづくりを目指す。

問 水産業の振興で、

アラレガコのエバ漁や食の流通文化を復活する取組をしているが、豊かな地域資源を活かす漁業組合内水面事業への支援の考えは。

農林課長 えい坊館に九頭竜川の恵みゾーンを配置し、鮎・サクラマス・アラレガコの生態を学ぶこととや、釣り情報の発信を考えている。



第二次永平寺町総合振興計画書

【その他の質問】
「地域をつなぐ自主防災連絡協議会「永平寺方式防災」の実現を」



川崎 直文 議員

問 学生、若者が参画の条例の制定は

答 条例案を6月議会に提案、制定へ

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略のごと創生総合戦略の施策にまちづくりや、小中学生の教育レベル向上にかかわる学生や若者を支援するための学生、若者が参画するまちづくり条例(仮)の制定がある。福井大学、仁愛女子短期大学の学生が取り組んでいる。

答 今後の制定に向けての取り組みは、総合政策課長1月の条例意見交換会を経て、大学生が意見をとりまとめた。学生が作った



策定に向けて町議会議場での大学生のグループワーク

条例案に若者の意見を取り入れる。商工会青年部と意見を取り入れる作業を行っている。学生、若者の意見を取り入れた条例案を6月の議会に提案し、制定する。

問 すでに大学と連携し、まちづくりを推進しているがその状況は。

答 総合政策課長 福井大学との学生まちなかデザイン事業で、えちぜん鉄道の松岡駅の看板をデザインする。3月

問 香港でのインバウンド政策は

答 本県の始動の遅さを感じた



楽間 薫 議員

問 町長は越前・加賀インバウンド機構のメンバーと香港に行き種々活動されたとの報道があった。その感想と成果は。

答 町長 先月3泊4日の日程で香港を訪問し

た。もうすでに日本の多くの自治体がインバウンドに積極的に取り組んでいる。日本政府の観光局、現地の大手旅行会社、領事館等々いろいろな方々と話をした。香港の人の、実に4人に1人が毎年日本を訪れており新しい日本を発見しに来ているのと。PRの方法など工夫しながら5市町が連携を密にし活動していくことを確認した。

問 張家港市友好交流20年目の対応は

答 文化芸術祭の記念行事に参加

問 中国江蘇省張家港市との友好交流都市締結調印して20年目の本年、本町の対応は。

答 総務課長 昨年12月に張家港市長から町長宛に今年11月の文化芸術祭の記念行事締結20周

年記念イベントへの招待状が届き、本町としてこれに応じる方向性で検討している。友好交流関係を促進し、相互の理解と協力を強固にすることを目的として、行政・議会を初め

中に完成する。早稲田大学との協働町まちづくりラボは、東古市、吉峰地区で最終報告会を開催する。福井大学・オムロン共同研究事業は、本

庁、両支所等に人の流れを検知する画像センサーを設置した。データの解析結果を行政サービスにどう活かしていくか協議する。

問 大学、学生との連

携活動の拠点は。総合政策課長 魅力発信交流施設えい坊館、禅の里笑来を予定。

【その他の質問】 「町創生総合戦略の進捗は」

とする訪中団を派遣すべく当初予算に計上している。

問 締結20年を経過しているが、町民にもっと張家港市の紹介をしようか。

総務課長 さまざまな媒体を利用し、町民に広く紹介すると共に、秋の訪中の際には一般町民の参加を募集したい。張家港市の皆様にも永平寺町をPRして

もらい、インバウンドや経済交流、青少年の交流につなげたい。

【その他の質問】 「国体を期に身障者にもやさしいまちづくりを」

問 地域福祉計画は社協と共に作れ

答 社協と協力し取り組む

問 本町は29年度、老人福祉計画・介護保険計画を作る。第三次地域福祉計画も含め、これから計画は社協など、社会福祉団体と共に作るべきだ。それぞれこそ町内の事業がより一体化する。

答 福祉保健課長 社協の地域福祉行動計画と、町の計画は互いに補完する位置にあり、連携するためにも、協力す



金元 直栄 議員

ることを明確に意識しながら取り組むたい。また、他の社会福祉団体の意見も伺いながらと思っている。

問 市街化調整区域の見直しを

答 町も考えている

問 福井市の中心部にも近い、条件の良い地域にありながら、人口減に悩まされている

吉野地区。同地区にかかるとこの規制については、時代に合わなくなつた規制となつている

ため、町がその気になつて取り組むべき行政の課題だ。建設課長 町も少子高

齢化の時代に合わない規制だと思つている。一つの方法として、住宅を建てる規準の緩和を県に働きかけていきたい。

問 地域包括ケアシステムは誰が作る

答 町の責任です

問 国は2025年問題として、あふれる高齢者、施設に入れない人は在宅で介護を要する導している。その在宅高齢者を地域で見ると、高年齢者が可能な限

りで作れるのか。地域の自治組織が要になるが、伊賀市の自治組織づくりと活動に学べ。福祉保健課長 町が責任を持つてやるべき課題だ。地域の実情に応じ、高齢者が可能な限

り地域で自立した生活ができるよう、医療・介護・予防・生活支援が包括提供される体制づくりを目指している。

問 広報戦略としてシティセールスを

答 重要性を十分認識し拡大



江守 勲 議員

問 自治体間競争に勝つために積極的にシティセールスをしては。総合政策課長 魅力を磨き上げ、外に発信することで新たな人の流れを作り、地域の活性化に繋がると考えている。

問 情報発信とブランドの磨き上げは同時進行で取り組むべきでは。

商工観光課長

ブランド戦略推進委員会や他市町の事業者等、それぞれの立場から意見を聞き、今あるものを磨き上げ、情報発信していく。



トップセールスで情報発信

町長 町内外の皆さんに、永平寺町の名称や特産品、九頭竜川などの魅力や情報発信には、えい坊館が大きな役割を担うと考える。

問 ブランド戦略推進委員会の進捗状況は。

商工観光課長 ブランド認定基準を策定し、売れる商品化を目指してブランド認定マークや統一パッケージによる商品開発を進めている。

問 ターゲットを絞った情報発信やトップセールスの今後の取り組みは。

町長 国内の情報発信

問 まちづくりのキーワードは住民自治

答 自治会組織の確立に向け取り組む



上田 誠 議員

問 地方分権により厳しい財政の新たな対応が求められる。自分たちの地域は自分たちで治めるといふ「住民自治」の考え方や実践が町づくりのキーワード（基本）であり、その新たな仕組みの構築が必要。

町長 地域や家族は自治体で守ろう、地域の顔が見えるコミュニティづくりから地域力をつけ、多方面から自治会組織の確立に向け取り組んでいく。

教育長 自分たちで話し合い何とか盛り上げていく住民自治を区や振興会単位で公民館と連携しながら構築し育

ていく。

問 仕組みを構築する支援として、活動拠点（公民館）の確保と事務設備。住民自治担当者や公民館主事などの人的支援が必須条件。またその理念（考え方）を支える公民館や社会教育が明確であることが重要不可欠。その基盤、仕組みを最初に提言し、示すのは行政の役目。

町長 公民館活動で、主事、館長の常勤により、公民館の自主性を高め、活動が活発になるよう一生懸命取り組んでいく。

問 地域包括ケアシステムの仕組みも住民自治組織の考えが基本であり第一歩。福祉保健課長 医療・介護・生活等の包括サービス体制づくりが基本。在宅生活支援Ⅱ住民同士のネットワーク体制や住民の意識づく



で住民活動の指針を示すべき。

町長 各市町の見直し方がある。現場の皆さんが活躍、活動できる方法で進める。

りが必要。生活支援協議体でコーディネートし、小学校区単位で対応する。
問 住民自治の考えや実践継承のため公民館の新たなあり方と役割

し、4月・6月・11月に放流する予定。

問 この時期、新聞マスコミはサクラマスが大きく取り上げ、町も目指す将来像として「めぐる感動心つながる清流の町永平寺」を掲げている。箱根町ではワカサギを町の魚として制定しているが我が永平寺町でも、えい坊館でのサクラマス啓発も聞いているが、サクラマスを町の魚として制定できないのか。

農林課長 九頭竜川流域自治体、福井市、坂井市、勝山市、本町と共有している部分と、鮎、アラレガコもいま

出ないか。
農林課長 町内女性グループで葉っぱ寿司にサクラマスを使い、新しい町おこし、また、食文化の継承として取り組んでいる。



町づくりに期待される鮎の中間育成施設

多田 憲治 議員

問 2月のサクラマスの解禁にともない、新聞、テレビ等のマスコミは幻の魚として賑わっている。将来、町の活性化を目指し、漁協も巨額を投じ中間育成施設の完成が間近ですが、施設の運営面から、この施設で育った稚鮎、ヤマメ等の稚魚をいつから放流できるのか。

農林課長 今、完成した中間育成施設に小浜市にある県栽培漁業センターより鮎の稚魚20万匹を2つの水槽で飼育し、4月・5月に放流する。2年目以降については、50万匹稚魚を搬入し、5つの水槽で飼育し、4月頃放流する予定。また、サクラマスについては、県内水面総合センターより3万匹稚魚を搬入し、3つの水槽で飼育

は引き続き積極的に取り組むが、海外への情報発信は、県にも「ZEN」を欧米に向けて発信していただいている。また、町単体ではなく、越前・加賀インバウンド推進機

構でしっかりと取り組む。
問 町民が永平寺町のセールスマンになっていただけるような環境づくりの取り組みは。

町長 民間の皆さんが積極的にブランドを使えるように、役場はブランドの土台作りをし、民間の皆さんがブランドを使い収益を上げ、ブランド発信してもらえような好循環に繋がる環境作りをしていきたい。

問 鮎中間育成施設の今後の運営は

答 鮎の稚魚を4月より随時放流



多田 憲治 議員

問 市荒川発電所の耐震は

答 関西電力と協議していく

問 市荒川発電所は、約4万6千キロワットの発電する水路式の発電所から、69メートル先に水をため導水管から流れる水で、S19年7月より発電をしている。S22年の冬に水管が破損し、中島地区が床下浸水した。上志比村当時、関西電力のおかげで、約2億円の税金が入ったと聞いていたが、現在は町に入る税金はいくらか。



市荒川発電所

税務課長 28年度分は合計で2527万393円。償却資産の主なものは、発電所・遮断機・送電設備・遠方監視設備など。

問 今、富山県で管理しているが、地震によつて上の水槽が破壊し、災害が起きる。その場合、災害対策は。

総務課長 関西電力(株)の庄川電力によると、水力発電所の主要な設備において耐震設計を行っており、毎月社員が巡視し、設備



酒井 要 議員

問 貧困家庭の子育て支援

答 高校生の情報取得に努める

問 格差社会の中で、子育てに苦しんでいる家庭の問題が表面化している。本町の実態把握と相談・支援は。子育て満足度100%を目指して。

問 行政はセーフティネット

答 行政としてしっかり努める

問 高齢者の生活も厳しく、生活保護世帯35のほとんどが高齢者世帯である。行政は弱者を守るセーフティネットの役割。地域で暮らす役場職員が一丸となって、弱者への支援をしていただきたい。

町長 税のはじまりは、生活に困っている方を救うためだと聞いている。2万人の町なので、すべてが見渡せる。文化的な最低限度の生活ができるよう、しっかり努めていく。



滝波登喜男議員

教育長 小中学生は、集金等で家庭の状況をつかみ、民生委員等と協議する。高校生は、高校と中学の生徒指導主事連絡調整会議があり、そこで情報を取り対処したい。

町長 29年度から県立大学の子育てマイスターの先生にお願いし、支援員が相談できる環境をつくり、的確な相談・支援を行っていく。

問 政治理論審査会の内容

答 弁護士にも相談

問 平成25年4月の職員採用について、政治理論審査会に審査依頼した。その調査方法は

総務課長 申請者3名

および被疑者に対し聞き取り調査、弁護士との相談を経て最終的に判断した。調査結果通知書は、議長宛に提出した。

問 人口減対策の検証は

答 施策の結果確認し推進

問 3月1日、住民台帳人口1万8千959人、減少傾向線から判断し、H38年1万9千人維持目標は至難。施策の進捗管理、有効性確認のPDCA管理は？

総合政策課長 子育て支援・住まいの定住支援・空き家住まい支援・出生率1.8への取り組み・企業誘致・宅地開発を進める。検証委



奥野 正司 議員

員会で施策の有効性を確認し目標結果管理実施。

問 子育て支援策、希望地区の幼児園に入れないという問題がある。対応は。

子育て支援課長 松岡地区で希望園に入れない園児10名発生。吉野園の受入枠拡大等に対応し地区内入園対応を図る。

問 人口減対策は喫緊

問 えち鉄のリノベを

答 鉄道事業者との協議推進

問 地域住民の足、特に高齢者や障がい者、高校生の重要な日々の足であり、27年度76万人が町内駅で乗降したえち鉄駅のバリアフリー、パーク&ライド、女性や高齢者も利用しやすいトイレ整備にバラ付きが激しい。22万人が乗降する観音町駅のその後の対応は。

総務課長 段差について



えちぜん鉄道パーク&ライド

問 AED活用は

答 現状維持

問 本町のAED公衆施設配置は。年間利用可能時間は3分の1〜4分の1。

AEDの24H有効活用策、コンビニや駐在所配置の検討は。

消防長 現状コンビニは不均等な場所にあり、検討の予定はない。

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間
2017年4月28日(金)～5月8日(月)

時	4月28日(金)	4月29日(土)	4月30日(日)	5月1日(月)	5月2日(火)	5月3日(水)	時
8	00 2月27日 開会①	00 3月7日 一般質問③ 江守勲議員 上田誠議員 多田憲治議員	00 3月10日 予算決算常任委員会②	00 3月14日 予算決算常任委員会①	00 3月7日 一般質問① 中村勲太郎議員 川崎直文議員 樂間薫議員	00 3月9日 本会議	8
9	03 文字告知放送	53 文字告知放送	30 文字告知放送	28 文字告知放送	48 文字告知放送	54 文字告知放送	9
10	00 2月27日 開会②	00 3月8日 一般質問① 酒井要議員 滝波登喜男議員	00 3月10日 予算決算常任委員会③	00 3月14日 予算決算常任委員会②	00 3月7日 一般質問② 金元直栄議員	00 3月10日 予算決算常任委員会①	10
11	22 文字告知放送	44 文字告知放送	21 文字告知放送	09 文字告知放送	50 文字告知放送	22 文字告知放送	11
12	00 3月6日 一般質問① 長岡千恵子議員 長谷川治人議員	00 3月8日 一般質問② 奥野正司議員	00 3月10日 予算決算常任委員会④	00 3月14日 予算決算常任委員会③	00 3月7日 一般質問③ 江守勲議員 上田誠議員 多田憲治議員	00 3月10日 予算決算常任委員会②	12
13	30 文字告知放送	26 文字告知放送	46 文字告知放送	31 文字告知放送	53 文字告知放送	30 文字告知放送	13
14	00 3月6日 一般質問② 小畑傳議員 上坂久則議員	00 3月9日 予算決算常任委員会(補正)①	00 3月13日 予算決算常任委員会①	00 2月27日 開会①	00 3月8日 一般質問① 酒井要議員 滝波登喜男議員	00 3月10日 予算決算常任委員会③	14
15	42 文字告知放送	55 文字告知放送	02 文字告知放送	03 文字告知放送	44 文字告知放送	21 文字告知放送	15
16	00 3月6日 一般質問③ 川治孝行議員 朝井征一朗議員 中村勲太郎議員	00 3月9日 予算決算常任委員会(補正)②	00 3月13日 予算決算常任委員会②	00 2月27日 開会②	00 3月8日 一般質問② 奥野正司議員	00 3月10日 予算決算常任委員会④	16
17				22 文字告知放送	26 文字告知放送	46 文字告知放送	17
18	13 文字告知放送	08 文字告知放送	02 文字告知放送	00 3月6日 一般質問① 長岡千恵子議員 長谷川治人議員	00 3月9日 予算決算常任委員会(補正)①	00 3月13日 予算決算常任委員会①	18
19	00 3月7日 一般質問① 中村勲太郎議員 川崎直文議員 樂間薫議員	00 3月9日 本会議	00 3月13日 予算決算常任委員会③	30 文字告知放送	55 文字告知放送	02 文字告知放送	19
20	48 文字告知放送	54 文字告知放送		00 3月6日 一般質問② 小畑傳議員 上坂久則議員	00 3月9日 予算決算常任委員会(補正)②	00 3月13日 予算決算常任委員会②	20
21	00 3月7日 一般質問② 金元直栄議員	00 3月10日 予算決算常任委員会①	07 文字告知放送	42 文字告知放送			21
22	50 文字告知放送	22 文字告知放送	00 3月13日 予算決算常任委員会④	00 3月6日 一般質問③ 川治孝行議員 朝井征一朗議員 中村勲太郎議員	08 文字告知放送	02 文字告知放送	22
23			09 文字告知放送				23
24				13 文字告知放送			24

時	5月4日(木)	5月5日(金)	5月6日(土)	5月7日(日)	5月8日(月)	時
8	00 3月13日 予算決算常任委員会③	00 3月6日 一般質問① 長岡千恵子議員 長谷川治人議員	00 3月8日 一般質問② 奥野正司議員	00 3月10日 予算決算常任委員会④	00 3月14日 予算決算常任委員会③	8
9		30 文字告知放送	26 文字告知放送	46 文字告知放送	31 文字告知放送	9
10	07 文字告知放送	00 3月6日 一般質問② 小畑傳議員 上坂久則議員	00 3月9日 予算決算常任委員会(補正)①	00 3月13日 予算決算常任委員会①		10
11	00 3月13日 予算決算常任委員会④	42 文字告知放送	55 文字告知放送	02 文字告知放送		11
12	09 文字告知放送	00 3月6日 一般質問③ 川治孝行議員 朝井征一朗議員 中村勲太郎議員	00 3月9日 予算決算常任委員会(補正)②	00 3月13日 予算決算常任委員会②		12
13	00 3月14日 予算決算常任委員会①					13
14	28 文字告知放送	13 文字告知放送	08 文字告知放送	02 文字告知放送		14
15	00 3月14日 予算決算常任委員会②	00 3月7日 一般質問① 中村勲太郎議員 川崎直文議員 樂間薫議員	00 3月9日 本会議	00 3月13日 予算決算常任委員会③		15
16	09 文字告知放送	48 文字告知放送	54 文字告知放送			16
17	00 3月14日 予算決算常任委員会③	00 3月7日 一般質問② 金元直栄議員	00 3月10日 予算決算常任委員会①	07 文字告知放送		17
18	31 文字告知放送	50 文字告知放送	22 文字告知放送	00 3月13日 予算決算常任委員会④		18
19	00 2月27日 開会①	00 3月7日 一般質問③ 江守勲議員 上田誠議員 多田憲治議員	00 3月10日 予算決算常任委員会②	09 文字告知放送		19
20	03 文字告知放送	53 文字告知放送	30 文字告知放送	00 3月14日 予算決算常任委員会①		20
21	00 2月27日 開会②	00 3月8日 一般質問① 酒井要議員 滝波登喜男議員	00 3月10日 予算決算常任委員会③	28 文字告知放送		21
22	22 文字告知放送	44 文字告知放送	21 文字告知放送	00 3月14日 予算決算常任委員会②		22
23				09 文字告知放送		23
24						24

視察レポート

グループホームと学童保育の複合施設・伊賀流自治の仕組み・福祉でまちづくりを視察

平成29年2月6日(月)～7日(火) 三重県桑名市・伊賀市



2月6日…グループホーム「ひかりの里」と学童保育「パンの木」の複合施設を視察。多世代が一緒に過ごすことで、高齢者も子供たちにも相乗効果は十分にある。問題点もあるが、メリットは大きい。

2月7日…伊賀流自治の仕組みでは、小学校区で「住民自治協議会」を設立。各々の地域の課題を共有し、住民による話し合いで課題解決。自治体からの財政支援として地域で使途が決定できる交付金がある。地域福祉も含めて住民自治の中で解決していくことが必要。

2月7日…福祉でまちづくりでは、制度でカバーされない人々を掘り起こして地域で解決するしくみ・要援護者の見守り支援・身近な地域で支えあう仕組みづくりで社会福祉協議会と地域が協力して福祉活動を行う。独居老人や老々世帯の人々が地域に住み続けられる環境が大切。

(長岡 記)

自主防災連絡協議会・国体へ向けての取り組み

平成29年2月6日(月)～7日(火) 松山市役所・松山市消防局・松山市総合コミュニティセンター

松山市では、全41地区(永平寺地区8地区)で連絡協議会が結成され、現在759(永平寺町89)の自主防災組織が結成されています。また行政と地域の小・中・大学や事業所と連携した活動のほか、防災士の育成、防災シンポジウムの開催、地区防災計画の作成など、様々な視点で地域防災力を高める活動を活発に取り組んでいます。国体については、本年愛媛国体が開催されますが、昨年プレ大会を経験しており、福井で本年プレ大会を開催するにあたり、迎える市町の競技種目の施設や関係団体・ボランティア等に関する準備等について本町の活動に活かせたらとの思いで視察しました。

防災面では、連絡協議会で地震・土砂災害・大雨など、災害ごとの対策を研究する分科会を開催し、住民主導で意見交換や組織の活性化を進めています。また市内の各自主防災組織連合会ごとに、地区の特性に応じた計画を作成しており、住民が自主的に取り組んでいることを強く感じました。議会はもとより、住民の方々にご理解を頂けるよう、少しでも取り入れていきたいと思えます。

(中村 記)

道の駅(先進地研修)視察研修

平成29年2月7日(火)～8日(水) 小浜市・おおい町

初日に道の駅「若狭おばま」を視察。地域経済の衰退が顕著となっている小浜市において観光を軸とした各種まちづくり事業を行政と民間が一体となり、「株式会社まちづくり小浜(おばま観光局)」を設置し迅速かつ積極的な推進を図っている。開設当初の売り上げは減少したが、現在は売上も上昇傾向にある地域特産物の販売等、イベント事業による収益を新たな事業の経費やまちづくりに還元している。市街地を初めとした町なか全体の賑わいを生み出すため、行政と民間が一体となって市内商店街の活性化を推進している。



道の駅「うみんびあ大飯」では新鮮な地元の農産物や特産品の直売機能、観光案内機能などを併せ持った拠点施設を整備することで、農林漁業や商工業などの地域産業の活性化を図り、地域産業の振興につなげている。

施設運営をするうえでは、行政と指定管理者および生産者との一体感が重要であり日々厳しい中であるが、お客様には常々「やさしい心付け」が大切だと思う。

(朝井 記)

福井国体に向けて機運上昇

松岡ミニバスケットボール スポーツ少年団全国大会出場決定

昨年2月に新チームが走りだしてから全国大会予選会（通称：ギャレックス杯）優勝を目標に、子どもたちは声を出し合って自発的に一生懸命練習に取り組んできました。

今年のレギュラーメンバーは下級生が過半数を占めており、県大会や遠征などで上級生とゲームをした後は、当たりの強い接触などで体に負荷が掛かりすぎてケガに悩まされた一年でした。そんな中アクシデントが起きてもチーム一丸となり課題を乗り越えることができ子どもたちは大きく成長しました。

今年1月21日（土）～22日（日）に全国大会予選会が福井市体育館で開催。決勝戦は鯖江市の吉川ミニバスケットチームとの対戦。県内トップクラスのスピード感と高いシュート力を武器に決勝まで進出してきた勢いのあるチーム。序盤から松岡は順調に得点を重ねリードを許さず、最終ピリオド3分を切った所で一気にたたみかけ37-25で突き離し、みごと優勝しました。40年前の第1回（吉川監督が出場）以来、2回目の快挙です。

優勝したことで、3月28日（火）～30日（木）に国立代々木競技場第1・第2体育館で開催される第48回全国ミニバスケットボール大会の出場権を得ました。予選リーグでは香



川県と北海道代表との対戦が決まり、目標を予選リーグ突破へと子どもたちも高い意識を持ちながら



練習に取り組んでいます。

クラブ運営や練習、対抗試合をするにあたり体育館の確保など、町をはじめ父母会、地域の方々の多大なるご協力・ご支援をいただき活動できたことに深く感謝申し上げます。

前回の福井国体において、旧松岡町でバスケットボールが開催されてから約半世紀、今もなお永平寺町の伝統として地域に深く根づいております。男子は松岡小学校、女子は御陵小学校を中心にチーム構成し、これまでも全国大会出場の実績を残しています。平成30年に開催される福井国体で、生まれ育った永平寺町でバスケットボールが開催されることを幸せに思います。これからもより一層スポーツにかかわることで、子どもたちが健全に成長できる町に発展してほしいと思います。

（山岡コーチ 記）

★第48回全国ミニバスケットボール大会結果★
南幌少年団（北海道）に43-25で勝利しましたが、円座スポーツ少年団（香川）に39-40で惜敗し、残念ながら決勝トーナメントには進めませんでした。

編集者のひと言

冬も終わり春が近づいていると感じたのもつかの間、三寒四温の言葉通り肌寒い日もあつて、体調管理が難しい日が続きますが、早く暖かい春が来てることを願います。

いよいよ4月からは様々な屋外競技が開幕となり、体を動かしたり観戦する機会が増え、楽しい季節がやって来ます。

スポーツといえば、今年はブル国体の年で、永平寺町でもハンドボール・バスケットボール・ソフトボールの3競技が開催されます。町では、国体ボランティアを2月1日から募集しています。

私も、ボランティアの申し込みをしました。町民の皆さんもぜひボランティアに申し込みをしていただき、皆でブル国体、本国体を盛り上げていきましょう。（江守 記）

議会広報特別委員会委員

委員長 小畑 勲
副委員長 江守 守

朝井征一郎・楽間 薫
川崎直文・奥野 正司
長岡千恵子

発行責任者 齋藤 則 男